



# キャンバス張り器

キャンバスはりき

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>



小型用 (写真左)・大型用 (写真右)

## 概要

キャンバス張り器（プライヤー）は、主に油彩画における支持体である張りキャンバスを仕立てる際に用いるペンチ型の道具です。

キャンバス（画布）を木枠（画枠）に張る時は、適度な幅をもって均等な力でキャンバスを引っ張りながらタックス（キャンバス用の釘）で打ち留めていきます。その際に引っ張る道具として、ペンチの先端部分を横に幅広くしたような形状をしたキャンバス張り器が必要になります。材質は、鍛造鋼製・アルミ合金製などの金属で作られ、持ち手の間にバネがついているものが多く、通常時は先端部分が開いている状態になります。キャンバスを挟む部分の幅は、小さいもので4.5cmぐらいから、大きいもので12cmぐらいのものまであります。幅の大きいものは、100号以上の大きいサイズのキャンバスを張る時などに適しています。挟む部分の内側には、ギザギザの溝やウレタンゴムがついていて、しっかりキャンバスを掴めるようになっています。また、挟む部分の下部には突起があり、その突起部を木枠の角などにひっかけて支点にし、テコの原理を利用して軽く引くだけで、しっかりキャンバスを引っ張ることができます。

取り扱いの注意として、キャンバス張り器の挟む部分にあるウレタンゴムが消耗してきた場合は、マイナスドライバーなどを使ってきれいに剥がした後、金属・ゴム用瞬間接着剤を塗布し、新しい替ゴムを圧着することで貼り換えることができます。

キャンバス張り器や替ゴムは、一般的な画材店で購入できます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字

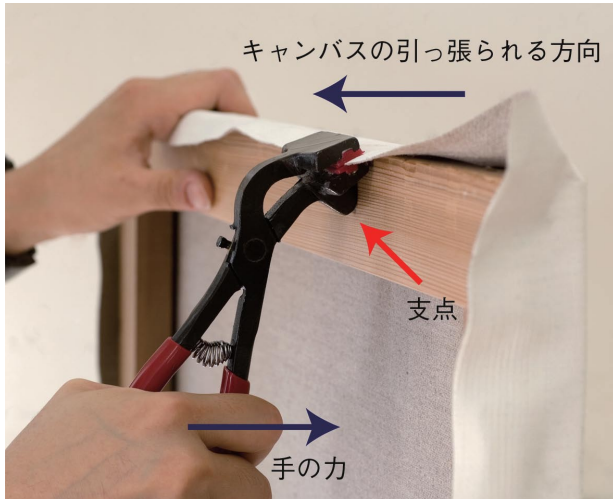


写真1. キャンバス張り器の使用例



写真2. 木枠に傷を付けずにキャンバスを張る場合

## キャンバスを張る



手順1. キャンバスを裏返して広げ、木枠の表側を下向きにして、キャンバスに置きます。



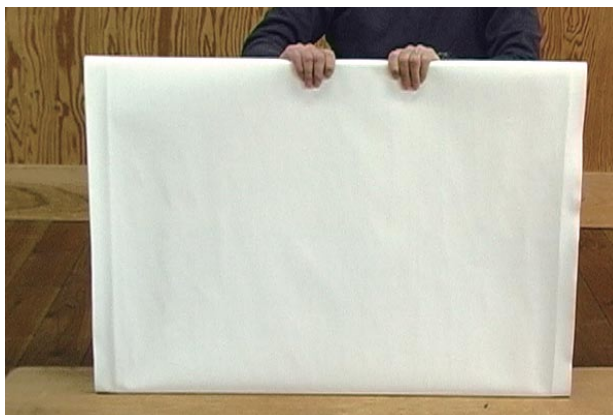
手順4. まず片方の長辺の中心から、金槌でタックス（釘）を仮打ちします。



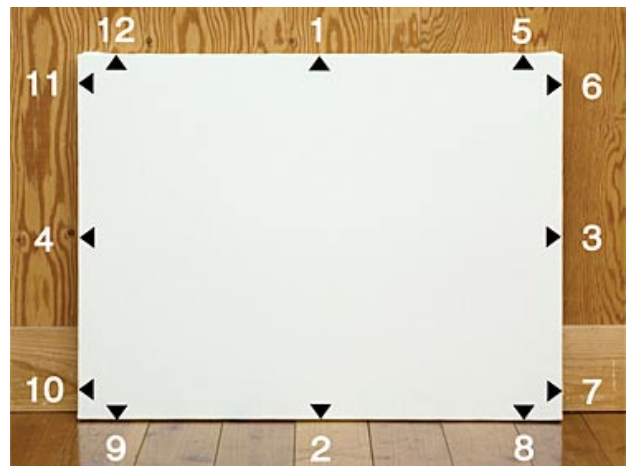
手順2. 木枠の各辺よりも数センチほど大きなサイズに、キャンバスを切ります。



手順5. 続いて2本目のタックスは、もう一方の長辺の中央へ、キャンバス張り器でキャンバスを引張りながら仮打ちします。



手順3. 木枠が切り出したキャンバスの中央に来るように調整します。



手順6. 同様に、写真の順序で、タックスを仮留めしていきます。





手順7. 仮留めし終わったら、再び最初に留めた片方の長辺中央のタックスに戻り、仮打ちしたタックスを抜きます。



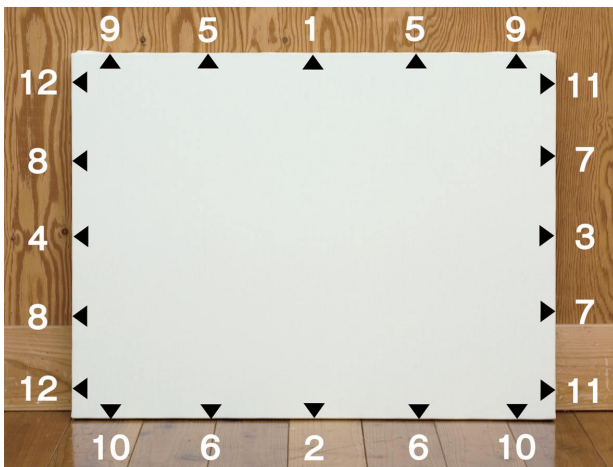
手順10. キャンバスの隅の部分は、写真のように余った部分を折込みます。



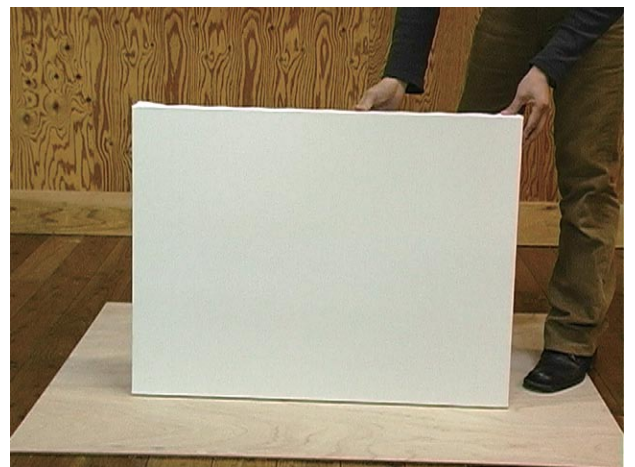
手順8. タックスを抜いたら、キャンバス張り器でキャンバスを引張りながら、もう一度しっかりと打ち込み直します。



手順11. 折り込んだら、タックスで留めます。同様に他の四隅も留めていきます。



手順9. 同様に、もう一方の長辺中央のタックスを打ち込み直すなど、上記の順序でしっかりとシワの無いようにキャンバスを木枠に本張りしていきます。



手順12. シワがないことを確認し、完成です。